

1. 概 要

平成 18 年度

□ 職員等の移動

- ・ 加藤哲哉教務補佐員を技術職員として採用（平成 18 年 4 月 1 日）。
- ・ 井上雅義事務掛員が理学研究科へ転出、田中雅浩事務掛員が医学部附属病院医務課南西医療事務掛から事務主任として着任（平成 18 年 4 月 1 日）。
- ・ 田中佐和子氏を教務補佐員として受入（平成 18 年 7 月 1 日-平成 19 年 3 月 31 日）。
- ・ 谷坂美和子事務主任が定年退職（平成 19 年 3 月 31 日）。引き続き再雇用職員として採用（平成 19 年 4 月 1 日）。
- ・ 白山義久教授がフィールド科学教育研究センター長に就任（平成 19 年 4 月 1 日）。

□ 行事・来訪者

- ・ 私費留学生として Yi-Ting Lien 氏を受入（平成 18 年 4 月 1 日-平成 19 年 3 月 31 日）。
- ・ JSPS サマープログラム留学生として Mia Steinberg 氏を受入（平成 18 年 6 月 20 日-8 月 20 日）。
- ・ 平成 18 年度博物館実習として納城なつみ氏（奈良女子大学理学部生物科学科 4 回生）・藪中麻衣子氏（北里大学水産学部水産生物科学科 3 回生）を受入（平成 18 年 7 月 2 日-7 月 6 日）。
- ・ 「シニア自然大学平成 18 年度マイスターコース」臨海実習を実施した。参加者 39 名（平成 18 年 8 月 26 日～27 日・講師 久保田 信助教授）。
- ・ 神戸国際会議場において「NaGISA 世界会議ー沿岸の生物多様性に関する国際シンポジウムー」を開催 参加者 122 名（21 ヶ国）（平成 18 年 10 月 15 日-18 日）。
- ・ 瀬戸臨海実験所年報第 19 巻発行（平成 18 年 12 月 25 日）。
- ・ 有棘動物の分類に関する国際ワークショップを瀬戸臨海実験所で開催（平成 19 年 3 月 13 日-16 日）。

2. 臨 海 実 習

□平成 18 年度

例年の通り、京都大学理学部をはじめ諸大学及び高校の臨海実習が下記の通り実施された。

(大学・実習科目・実習期間・受講学生数)

京都大学大学院理学研究科生物科学専攻 INTER LAB	4/14-4/15	延	102 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）「海洋生物の生活史」	5/1-5/5	延	50 人・日
京都大学大学院人間・環境学研究科海洋化学実習	7/24-7/28	延	95 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）「海洋生物の多様性」	7/28-8/1	延	50 人・日
京都大学臨海実習第 1・4 部	8/1-8/8	延	96 人・日
京都大学新入生向け少人数セミナー（ポケット・ゼミ）「節足動物学入門」	8/28-9/1	延	15 人・日
京都大学他公開臨海実習・臨海実習第 1 部	9/1-9/8	延	96 人・日
京都大学防災研究所気象海象観測実習	9/12-9/13	延	44 人・日
京都大学高等教育研究開発推進機構探求型化学実験（全学共通科目実習）	9/19-9/23	延	80 人・日
京都大学・北海道大学森里海連環学実習 B	9/24-9/26	延	39 人・日
京都大学生物科学ゼミナール	12/27-12/28	延	6 人・日

京都大学大学院人間・環境学研究科生物学実習Ⅱ（海洋生物学コース）

	3/5-3/8	延	88人・日
京都大学臨海実習第3部	3/17-3/22	延	60人・日
京都大学臨海実習第2部	3/26-4/1	延	56人・日
京都大学他公開臨海実習	3/26-4/1	延	84人・日
和歌山大学教育学部臨海実習A（植物）	4/1-4/5	延	30人・日
奈良女子大学理学部臨海実習Ⅱ	5/22-5/27	延	132人・日
大阪教育大学教育学部臨海実習	6/9-6/14	延	126人・日
奈良教育大学教育学部臨海実習	6/14-6/18	延	90人・日
和歌山大学教育学部臨海実習B（動物）	7/1-7/5	延	60人・日
奈良女子大学他博物館実習	7/2-7/6	延	10人・日
大阪市立大学理学部臨海実習	7/11-7/17	延	140人・日
信州大学理学部海洋化学実習	7/24-7/28	延	50人・日
地球環境大学 NaGISA サンプリング講習会	7/28-7/30	延	9人・日
関西学院大学工学部臨海実習	8/20-8/24	延	125人・日
京都教育大学教育学部生物学夏期実習Ⅱ	8/29-9/1	延	56人・日
大阪大学理学部生物学臨海実習	9/13-9/18	延	168人・日
大阪千代田短期大学幼児教育科磯観察実習	11/18-11/20	延	57人・日
龍谷大学法学部環境フィールドワーク白浜臨海実習	3/23-3/26	延	52人・日
滋賀県立膳所高等学校他滋賀県理科教育研究会サイエンスパートナーシッププロジェクト	6/30-7/1	延	40人・日
日米共同理科教育ネットワークプログラム	7/17-7/18	延	52人・日
滋賀県立膳所高等学校第37回生物実習旅行	7/21-7/24	延	116人・日
兵庫県立尼崎小田高等学校臨海実習	8/9-8/11	延	30人・日
奈良女子大学附属中等教育学校サイエンス「夏の学校」	8/24-8/26	延	141人・日
兵庫県立姫路飾西高等学校1年SSC（サイエンス・サーベイ・コース）宿泊研修・海洋実習	2/2-2/4	延	66人・日
兵庫県立姫路飾西高等学校1年SSC（サイエンス・サーベイ・コース）宿泊研修・海洋実習	2/9-2/11	延	66人・日
NaGISA プロジェクト第7回 NaGISA ワークショップ	3/12-3/17	延	126人・日
（計） 京都大学	13件	延	781人・日
公開臨海実習	2件	延	180人・日
他大学国立	9件	延	692人・日
公立	1件	延	140人・日
私立	3件	延	234人・日
その他	9件	延	646人・日
（総計）	37件	延	2673人・日

○ 公開臨海実習は「海洋生物の生態学・分類学・発生学および海洋観測の分析」と題して学部生を対象に実施し、北海道大学・東北大学・岡山大学・広島大学・鹿児島大学・酪農学園大学・中部大学・大阪産業大学からの学生8名が受講した。

○ 公開臨海実習は「無脊椎動物の多様性と進化」と題して学部生を対象に実施し、福島大学・琉球大学・筑波大学・東京海洋大学・東京工業大学・北海道東海大学・酪農学園大学・県立広島大学からの学生10名が受講した。

また地域貢献の一貫として、以下の行事が実施された。
 (行事名・実施期間・参加者数)

3. 研究会・来訪研究者

下記の研究会が開催された。

○第20回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：荻野 みちる（海の哺乳類情報センター代表）“プランクトンからクジラまで ～海洋生物と海の世界～”．（18年1月26日）

○第21回瀬戸海洋生物学セミナー」

話題提供：上野 俊士郎（独立行政法人水産大学校生物生産学科教授）“エチゼンクラゲ大量発生の予報とその逆転利用 ～水産資源としての活用に向けて～” （18年12月24日）

来訪研究者は次の通りであった。

○平成18年度(2006年4月1日－2007年3月31日)

学内	55名	197日
(内外国人	1名	4日)
他国立大学	82名	627日
(内外国人	1名	7日)
公立大学	6名	21日
(内外国人	0名	0日)
私立大学	13名	127日
(内外国人	1名	5日)
公立研究所・博物館	11名	42日
(内外国人	1名	3日)
国立研究所・博物館	6名	40日
(内外国人	0名	0日)
国内その他	77名	368日
(内外国人	1名	3日)

小計	250名	1422日
(内外国人	5名	22日)
国外	21名	347日

合計	271名	1769日